

9月議会
定例会今年の米の概算払金は
17,500円
(※行政報告時点)

9月議会定例会が、9月11日から20日までの7日間にわたり開催され、条例の一部改正や令和6年度各会計補正予算案などの16議案と報告2件、承認1件、認定1件の計20件が提案、可決され、令和5年度歳入歳出決算について認定されました。

行政
報
告

◇新型コロナワクチン接種について

高齢者のインフルエンザ接種と同様に、個人の発病や重症化予防に比重を置いたB類疾病の定期接種として実施するものであります。

接種期間といたしましては10月初旬の開始を予定しており、医療機関との協議

の結果次第ではありますが、請求・支払い等事務手続きのスケジュールを踏まえつつ、接種期限を2月下旬頃とすることで調整を進めているところであります。

なお、接種希望者におかれましては、インフルエンザ予防接種と同じく、医療機関に備え付けられた専用の予約票をご使用いただくこととなります。

65歳以上の高齢者と、60歳から64歳のうち、重い基礎疾患をお持ちの方が対象となりますが、現在は任意接種となっております。12歳以上の定期接種対象外の方や、11歳未満の方につきましては、新たな国の方針等が示された際には、順次、町民の皆様へ周知を図ることとなります。

◇稲作の作柄状況等について

8月20日現在の能代山本地区の水稲の生育状況は、平方メートル当たりの穂数は416本で平年の93パーセントと少なくなっており、1穂当たりの着粒数

は、76.4粒で平年並みですが、茎数不足による穂数の減少により、平方メートル当たりの着粒数は例年の94パーセントに止まっており、刈り取り時期は、今後の天候にもよりますが、本年は、平年よりも最低気温が高く、日照時間が長いことで、登熟速度が早まっていることから「あきたこまち」は9月10日、「めんこいな」は9月15日頃になると思われます。

なお、東北農政局が8月30日に発表した秋田県の作柄概況は「やや良」となっており、

今年の米の概算金は、8月29日に開催された全県JA組合長会議で決定され、「あきたこまち」で前年同期に比べ4,700円高い16,800円としました。これにJAあきた白神の生産者概算金は更に700円上乗せし、17,500円で決定されました。全県的に3年連続となる記録的な大雨で、県内の米農家にも大きな被害が出ていることや、肥料や燃料などの高騰による生産コストの上昇により、昨年に続いての増額となったようであり、

今年で14年目となるリンドウは8月23日までの販売において、出荷本数114,025本、販売金額5,278千円で、

昨年同期と比較して本数で58,760本、販売額で2,298千円の減となっております。

出荷本数減の要因としては、リンドウ農家の規模縮小や、5年目を超える株が増えたことによる収量減となったことにより、

販売額減の要因としては、天候により生育が昨年よりも1週間以上前倒しとなったことにより、お盆時期に花が残らなかったこと、当町の出荷のピークが市場単価が安値の時期になったことで売上に伸びが見られなかったことにより、

天候に左右される露地栽培物の欠点が顕著に現れた結果と考えております。

今後は、晩生品種の導入を図るとともに、場合によっては、冷蔵施設等を整備した出荷調整等も検討しなければならぬと感じております。

矢野上野地区サテライト団地整備事業は、現在、奥岩本の旧苗畑において1ヘクタールのネギ栽培と、ビニールハウスでの山ウドの栽培を行っております。山ウドについては1月から3月までの出荷額が2,055千円と、昨年同期比274千円の増となりました。

ネギについては、8月に入ってから夏ネギの出荷が始まっており、8月23日までに2,017千円の売上と、昨年同期比663千円の増となりました。

今後は今年度から作付けが始まった矢野上野地区の圃場で、水稲1.6ヘクタールと秋冬ネギ1.7ヘクタールの出荷に向けて、良質品の出荷ができるように、関係機関との連携を図りながら適宜対応してまいります。